

第10章 学校での学習実践例

学校で報徳仕法を学習するには？－市内小学校・中学校学習の実践例－

【鹿島中学校1年生の総合的な学習の時間では、このように学習しています。】



地域体験学習 テーマ「地域を調べる」

《南相馬市内の史跡・施設の見学》

- ①万葉歌碑・万葉植物園
- ②真野古墳群
- ③桜井古墳群・野馬土手・萱浜用水路
- ④南相馬市博物館
- ⑤二宮家住宅跡・報徳訓碑
- ⑥七千石用水路・土樋

《「報徳仕法と鹿島の史跡」についての出前講座授業》

南相馬市博物館職員から、報徳仕法や歴史について説明を受けました。

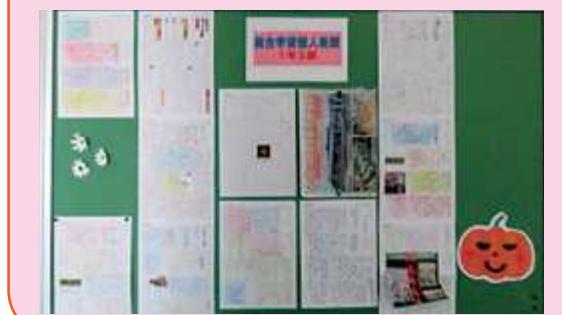


その他にも、石神中学校の生徒が作画した紙芝居「二宮金次郎と富田高慶」で、報徳仕法について学習しました。

《学習のまとめ》
史跡等の見学や出前講座で学んだことを、まとめ文化祭で発表します。
初めに、個人でまとめ、その後グループでまとめました。



《学習内容の発表》
グループでまとめたものは、「南相馬市PR大作戦」と題して、文化祭のステージ上で発表しました。
また、個人でまとめたものは掲示し発表しました。



【小学校4年生の社会科「きょう土を開く」の学習】

石神第一小学校では、萱浜用水路を見学し、地域に残る用水について学習しています。

西殿堰（原町第一下水処理場付近）から、南相馬市スポーツセンターや桜井古墳周辺の水路を見学し、萱浜用水路は、富田高慶や荒至重が二宮尊徳の教えを学び、水の特性（高低差）を利用して、ため池のない約4km先の萱浜地区へ水を運び、農村を復興し、人々の暮らしも改善されていったことなどを学ぶことができます。



上真野小学校では、七千石用水や唐神ため池等を見学し、地域の用水やため池について学習しています。



二宮尊徳の教えは、至誠と勤労・儉約・分度・推讓の考え方を基本としていること。

また、七千石用水を設計をしたのは荒至重らだが、実際に作業をしたのは、地域の農民（皆のご先祖様）で冬の農作業の無い時期に手作業で苦労し、「褒美」を与えることによって、働く気持ちを高めたことなどを学習しています。

また、富田高慶の弟子入りの際の、「豆のエピソード」から、知識として知るだけでなく、実際にを行うことが大切であるという教えを学ぶことができています。

大甕小学校では、【荒至重や村の人は、どうして萱浜用水をつくろうとしたのだろう。】という授業が進められています。

「萱浜村の米の量と世帯数の変化」の表や、「奥州中村藩の年貢・人口の移り変わり」のグラフ等から、当時の地域の様子を読み取り、用水が作られた理由を理解することができます。実際に萱浜用水を見学し、機械の無い時代の手作業による苦労なども学ぶことができます。

